

# 地域レベルでの漁況海況情報の提供事業

## Ⅱ 探索船情報を用いた曳縄漁業の効率化

漁業資源課 山下 慶太郎

### 1 目的

曳縄漁船によるカツオ漁場の探索を行い、探索結果を漁業者に提供することにより、操業の効率化に資するとともに、高知県海域におけるカツオ漁場の形成要因を明らかにすることを目的とした。

### 2 方法

平成30年5月から平成31年3月に、すくも湾漁業協同組合（以下「すくも湾漁協」）及び高知県漁業協同組合佐賀統括支所（以下「佐賀統括支所」）の曳縄漁船を用船し、表層型浮魚礁土佐黒潮牧場（以下「黒牧」）の周辺を中心に魚群を探索した。探索海域の選定は、前日の漁獲情報や当日の無線情報を参考にした。用船した漁船には、ハンディGPS（GARMIN社製 etrex 20xJ）を渡し1分毎の漁船位置（緯度経度）を把握するとともに、漁業者には釣果、漁場位置（ロラン数字）、漁場水温（表層水温）等の記録を依頼した。得られた情報は、当日中に関係漁協にFAXで提供した。

### 3 結果

#### （1）探索結果の概要

調査は5月から6月にすくも湾漁協所属曳縄船で5回、10月から12月及び3月に佐賀統括支所所属曳縄船で9回実施した。漁場探索結果の概要を表1に示した。

いずれの探索においても、漁場の大半は黒牧周辺で、釣果はカツオ及びキハダ小型魚（ビンタ）が主体であった。

#### （2）水温と漁場形成との関係

漁獲が多かった日の主な漁獲位置と、同日の高知県沿岸高精細水温図（（一社）漁業情報サービスセンター提供）を重ねたものを図1～4に示した。5月16日及び25日の漁獲位置は、黒潮本流から北西方向への分枝流付近に該当すると推測された。10月18日及び3月8日の操業位置は黒潮本流の北端付近で、操業位置付近では土佐湾内へ流れ込む弱い分枝流が発生していたと推測された。

表1 探索結果一覧

回	日付	主な漁獲場所等	漁場水温 (°C)	漁獲量
1	5月16日	えひめ1号		カツオ(1kg～5kg台)24尾、ビンタ(1～3kg台)22尾
2	5月25日	黒牧21号	22.3～22.6	カツオ(1kg～2kg台)20尾、ビンタ(1～3kg台)10尾 トンボ(2kg台)1尾、シイラ2尾
3	5月31日	黒牧21号	24.2	カツオ(1～5kg台)16尾、ビンタ(1～2kg台)4尾
4	6月7日	えひめ1号	25.3	カツオ(1～5kg台)18尾、ビンタ(1～3kg台)13尾
5	6月14日	えひめ1号	25	カツオ(1kg台)1尾、ビンタ(2～3kg台)8尾
6	10月18日	黒牧9号、黒牧6号	24.3～24.6	カツオ(1～2kg台)35尾、ビンタ47尾(1～2kg台) シイラ9尾、サワラ1尾
7	11月1日	野原(浮魚礁以外を探索)	22.6～23.7	カツオ(1kg未満)1尾、ヨコワ(1～2kg台)2尾
8	11月8日	GPS波浪計ブイ、野原(浮魚礁以外を探索)	23.3～24.5	ビンタ(2～3kg台)10尾、ヨコワ(1kg未満)10尾 シイラ5尾
9	12月5日	野原(浮魚礁以外を探索)	20.6	ヨコワ(1kg台)1尾
10	12月13日	ナブラ	21.1	カツオ(4kg台)1尾
11	3月1日	潮目	19.5	カツオ(1kg台)1尾、ビンタ(6kg台)1尾 シイラ3尾
12	3月5日	黒牧8号、黒牧20号、ナブラ	19.7～20.3	カツオ(1～2kg台)10尾、ビンタ(2kg台)3尾 トンボ(2kg台)1尾、シイラ1尾
13	3月8日	黒牧8号、野原	19.0～19.6	カツオ(1～2.5kg台)14尾、ビンタ(1kg台)1尾 シイラ4尾
14	3月15日	黒牧8号、ナブラ	19.1	カツオ(1kg台)1尾、シイラ4尾

\*ビンタ…キハダ小型魚、トンボ…ビンナガ小型魚

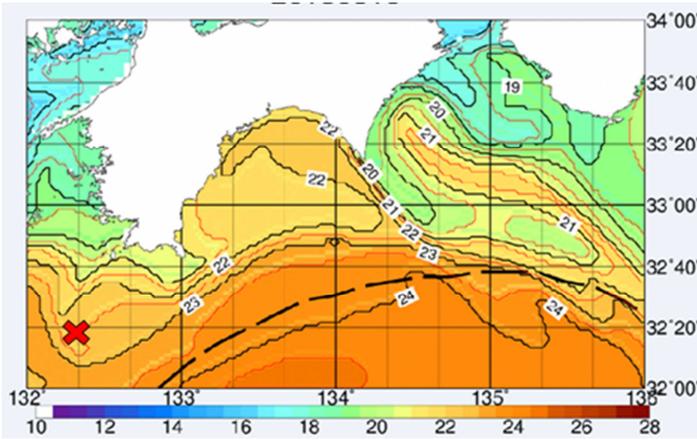


図1 5月16日の水温図と漁獲位置

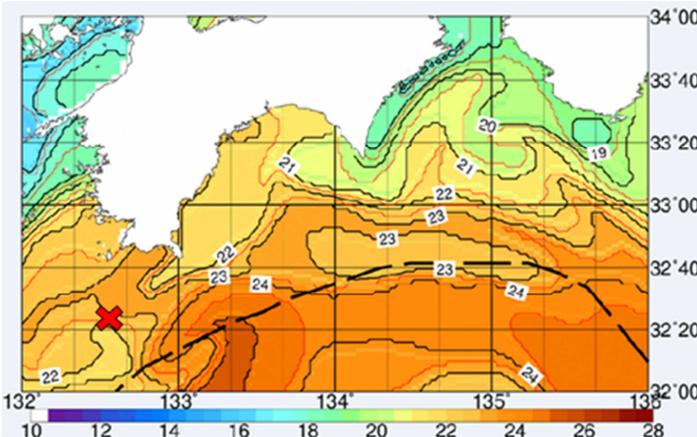


図2 5月25日の水温図と漁獲位置

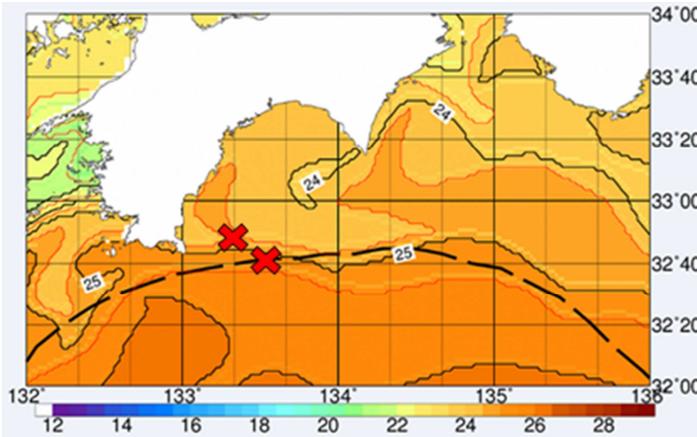


図3 10月18日の水温図と漁獲位置

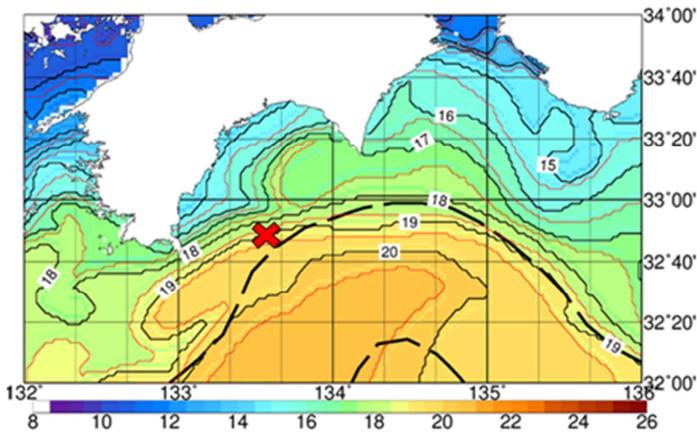


図 4 3月8日の水温図と漁獲位置